

ハイブリッドセミナー
EMC技術者教育【実践編】
次世代EMC設計技術と評価法



詳細はこちら

- 日 時 2025年2月27日(木)
9:40~16:40
- 会 場 名古屋市工業研究所
管理棟4階 第2会議室
名古屋市熱田区六番3-4-41
- 受講料 会 員 6,600円
(税込み) 非会員13,200円

中部エレクトロニクス振興会

✉ cea@eleshin.org

☎ 052-228-1760

<講演1>

『CISPR25評価における車載イン
バータのノイズ伝達と抑制』

株式会社 デンソー
瀧 浩志氏

[企業プレゼンテーション1]

『静電気の電流の流れを見える化』

マイクロウェーブファクトリー 株式会社

<講演2>

『シミュレーションを活用した
自動車のEMC開発』

トヨタ自動車 株式会社
太田 総一郎氏

<講演3>

『民間航空機向けアビオニクスの
EMC評価概要』

株式会社 イー・エム・シー・ジャパン
井上 友紀氏

[企業プレゼンテーション2]

『KECのEMC試験のご紹介』

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター

<講演4>

『EMCを考慮した半導体ICの
ESD 保護回路設計技術と評価
技術』

ルネサスエレクトロニクス 株式会社
奥島 基嗣氏

[企業プレゼンテーション3]

『IMV株式会社 テスト&ソリューション
サービスのご紹介』

IMV 株式会社

<講演5>

『ラジオノイズの観点から見た
自動車のEMC開発について』

マツダ 株式会社
手島 由裕氏

EMC技術者教育【実践編】～次世代EMC設計技術と評価法～

1. 日 時：2025年2月27日(木) 9:40～16:40
2. 会 場：名古屋市工業研究所 管理棟4階 第2会議室
3. 開催スタイル：ハイブリッド(対面・オンライン«Zoom»)
4. 募集人数：対面30名 オンライン60名(定員になり次第締切り)
5. 受講料：会員6,600円 非会員13,200円 (消費税込)
6. 申込期限：2025年2月10日(月)
7. 申込方法：下記申込書にご記入の上、メール又はFaxにてお送り下さい
8. 支払方法：請求書を郵送しますので、期日までにお振込み下さい
9. 申込み・：中部エレクトロニクス振興会 事務局
問合せ先 E-mail：cea@eleshin.org
Tel：(052)228-1760 Fax：(052)228-0997

尚、オンライン受講の方には、Zoom URLをメールにて、テキストを郵送いたします。(2月19日発送予定)

対面受講の方には、セミナー当日にテキストをお渡しいたします。

※会員＝中部エレクトロニクス振興会会員

EMC技術者教育【実践編】受講申込書

受講スタイル	いずれかに ○をお付け下さい		
会社名	<input type="text"/>		
住所	〒 <input type="text"/>		
氏名	<input type="text"/>	部署・ 役職名	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>	TEL	<input type="text"/>

お申込み



中部エレクトロニクス振興会

E-mail: cea@eleshin.org

F A X : 052-228-0997

【講演スケジュール】

開会挨拶 9:40～9:45

<講演1> 9:45～10:45

『CISPR25評価における車載インバータのノイズ伝達と抑制』

株式会社デンソー 研究開発部 MSプロ開発室 キャリアエキスパート 瀧 浩志 氏

車載主機インバータを題材にCISPR25の高電圧系ノイズ試験規格の概要を整理し、インバータからのノイズがどのように発生伝達してCISPR25評価系に至るか、およびノイズを抑制する基本的な考え方を紹介します。

(キーワード：インバータ動作・寄生結合・Yコン効果・シールド効果・CISPR25評価系)

<企業プレゼンテーション1> 10:45～10:55

『静電気の電流の流れを見える化』

マイクロウェーブファクトリー 株式会社

低電圧で動作する電子機器では、静電気放電によって誤動作を引き起こすことがあります。ESD可視化システムで、電流の流れのルートを特定化し、対策すべきポイントの把握や対策前後の検証を行うことができます。

<講演2> 11:05～12:05

『シミュレーションを活用した自動車のEMC開発』

トヨタ自動車 株式会社 電子性能開発部 電子性能開発室 6G グループ長 太田 総一郎 氏

自動車のEMC開発では、電動化・知能化等に伴う開発期間の長期化や測定バリエーションの増加、従来からの実測や過去知見に頼った開発、技術や技能の属人化などが問題となっています。今回はこれらへの対応として、EMCシミュレーションに関する取り組み状況や今後の展望について紹介します。

昼休憩 12:05～13:00

<講演3> 13:00～14:00

『民間航空機向けアビオニクスのEMC評価概要』

株式会社イー・エム・シー・ジャパン 測定技術部 第2グループ 担当部長 井上 友紀 氏

民間航空機は自動車に比べて国際基準に照らした認証・証明の取得や厳しい品質管理が要求され、自動車に比べて年間生産数は少ないが部品点数は自動車が約2～3万点に対して大型旅客機で約300万点あります。そのなかで民間航空機に搭載される電子機器(アビオニクス)がEMC評価基準として用いているRTCA/DO-160Gについて紹介します。

<企業プレゼンテーション2> 14:00～14:10

『KECのEMC試験のご紹介』

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター

2024年に完成、稼働した大型機器や大電力機器に対応した最新鋭電波暗室を動画で紹介。国内外自動車メーカー規格に幅広く対応するKECのEMC試験設備も合わせて紹介します。

<講演4> 14:20～15:20

『EMCを考慮した半導体ICの ESD 保護回路設計技術と評価技術』

ルネサスエレクトロニクス 株式会社 Engineering Group/Foundation,
Technology & Infrastructure IP Division 主管技師 奥島 基嗣 氏

システムのコスト・EMC再設計低減を目的とし、半導体ICのEMCイミュニティ試験を考慮した設計要求が増加しています。本講演では、まず半導体ICのESD保護回路設計について紹介します。その後、EMCを考慮した保護回路設計の具体例と、TLP評価データを活用したPCB設計との協調設計手法およびその注意点について詳述します。

<企業プレゼンテーション3> 15:20～15:30

『IMV株式会社 テスト&ソリューションサービスのご紹介』

IMV 株式会社

IMV株式会社が提供するテスト&ソリューションサービス(振動・環境・電池評価・EMCを含めた各試験)について、紹介します。

<講演5> 15:40～16:40

『ラジオノイズの観点から見た自動車のEMC開発について』

マツダ 株式会社 電子性能開発部 EMC/AVC実研グループ マネージャー 手島 由裕 氏

いわゆる「ラジオノイズ」はEMCと切っても切れない関係にあります。EMCの世界では車載受信システムを含んだ議論の機会は限られています。そこで本講演では、EMC法規「UN R10」、EMC国際規格「CISPR12」「CISPR25」との対比で「ラジオノイズ」の特徴を解説し、その車両評価事例と、車両設計の難しさについて述べることで、ラジオノイズ開発への理解を深めます。

お申込み



中部エレクトロニクス振興会

E-mail: cea@eleshin.org

F A X : 052-651-5460